

地域情報ご担当者様

2026/9/xx

ご案内を送付いたしますので、是非ご取材ください。ご取材いただける場合は担当までご連絡をお願いいたします。

板橋区と国立大学法人東京大学宇宙線研究所との 連携に関する協定締結式を開催します。

事業名	板橋区と国立大学法人東京大学宇宙線研究所との連携に関する協定締結式		
概要	板橋区は、令和8年10月2日（金）に開催される『板橋オプトフォーラム』内で、東京大学 宇宙線研究所（以下、「宇宙線研究所」という。）と、それぞれが持つ資源を活用し、地域産業の持続的な発展と科学技術を支える人材の育成に寄与することを目的として、連携協定を締結いたします。 これまで区と宇宙線研究所とは、毎年11月に開催する「いたばし産業見本市」や区学芸員との共同研究といった連携協力の経緯があります。また、戦後日本の先進的科学技術の研究拠点として、昭和22年から約50年にわたり、宇宙線の連続観測が行われ、現在史跡公園として整備が進められている旧理化学研究所板橋分所もあり、現在の宇宙線研究所の活動とも関連が深いものとなっています。 今回の協定が締結されることで、最先端の宇宙線研究に携わる宇宙線研究所と区それぞれが持つ資源を活用し、地域産業の持続的な発展と科学技術を支える人材育成に資する分野横断的な区事業との連携協力が期待されます。		
日時	【日時】 令和8年10月2日（金） 13：00～13：15（予定） 【会場】 第13回板橋オプトフォーラム会場（板橋区立グリーンホール2階ホール 板橋区栄町36-1）		
参考	区と同研究所の連携事業 （1）第28回いたばし産業見本市 1) ビジネスセミナーでの瀧田正人教授による基調講演 2) ワークショップの企画運営及び講師・学生スタッフの派遣 3) 展示品（スーパーカミオカンデの光電子増倍管ほか）の貸与 （2）第29回いたばし産業見本市 1) ステージイベントで塔隆志教授の登壇 2) ワークショップの企画運営及び講師・学生スタッフの派遣 3) ブース出展（宇宙線研究所で進行中の実験の紹介） （3）第30回いたばし産業見本市（※予定） （4）史跡公園（仮称）整備準備展覧会でのプレプログラム（荻尾彰一所長による講演会） （5）区学芸員との共同研究 （6）第13回板橋オプトフォーラムにおける荻尾彰一所長による基調講演 国立大学法人東京大学宇宙線研究所について 東京大学宇宙線研究所（Institute for Cosmic Ray Research: ICRR）は、東京大学の附置研究所であり、宇宙線、ニュートリノ、ガンマ線、重力波などの観測を通じて、宇宙の成り立ちや素粒子の性質を解明することを目的とする研究機関である。日本を代表する宇宙物理学・素粒子物理学の研究拠点であり、国際共同利用・共同研究拠点として国内外の研究者に研究基盤を提供している。 【設立】 1950年に朝日学術奨励金で乗鞍岳に建てられた宇宙線観測用の「朝日の小屋」に始まり、前身である東京大学宇宙線観測所は1953年に設置された。これは、我が国初の全国共同利用研究の機関であり、その後、1976年5月25日に現在の東京大学宇宙線研究所が設立された。2020年度からは、国際共同利用・共同研究拠点となっている。2026年には設立50周年を迎えている。		
備考	取材を希望される方は、下記担当まで取材をお申し込みください。		
取材申込	部署名	板橋区産業振興課 産業遺産担当係	担当者
	電話	03-3579-2430	Mail
			武井
			sg-isan@city.itabashi.tokyo.jp